

特許情報ADの支援でリエゾンマンの育成

支援前

・特許出願件数アップを図るため、開発・製造部門の技術者対象に特許の研修会などを行ってきたが、研修会に参加しても、直ぐに特許出願に結び付くものではなかった。
・先行技術調査については、IPDLの講習会を実施したが、各自が担当する開発テーマで先行技術を調査しても上手く検索できないことがあった。

ADの支援

・特許リエゾンマン6名を選出し、知財が分かる技術者の育成支援を行った。
1.特許出願については、各リエゾンマンが担当する開発テーマに対し、発明のポイントを把握して貰い、発明届出書を作成する演習を行った。
2.先行技術調査については、IPDLを使い、開発テーマ毎に検索演習を行い、所期の目的とする公報を抽出する演習を行った。

支援後

1.特許出願については、特許リエゾンマンが担当している開発テーマから発明を抽出し、発明届出書を作成し、特許出願に繋げることができるようになった。
2.先行技術調査については、リエゾンマン各自の開発テーマに対し、IPDLを活用して確度の高い先行技術調査ができるようになった。

支援先企業担当者のコメント

・技術者全員が知財の重要性を認識し、アイデアが明細書にまとめられるように、アイデア会議、講習会を開催してきました。しかしながら、期待していた明細書の提出はほとんどなく、どのようにすれば技術者の知財レベルが上げられるか悩んでいました。そこで弊社の知的財産のご指導をお願いしております埼玉県知財センターの小林先生に相談したところ、一気に全社員のレベルアップを図るのでは無く、先ず核なる人物(リエゾンマン)を育成し、その人材を中心に徐々に人材の裾野を広げ全体のレベルアップを図るという方法をご提案頂きました。
・早速、6人を選出し小林先生に作成して頂いたスケジュールに従ってトレーニングを開始したところ、教育プログラムが功を奏し着実にメンバーの理解が深まって行きました。この制度を活用して行けば弊社知財のグレードアップが図れると確信しました。
今後もご指導宜しくお願い致します。 マスク開発課 大澤 勝

支援先企業の概要

会社名 アルバック成膜株式会社
所在地 埼玉県秩父市寺尾2804番地
代表者 橋本 力
設立 1976年
ホームページ <http://www.ulcoat.co.jp>



小林公(埼玉県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

・開発の中に埋もれている特許を抽出する有効な手段として、特許リエゾンマンを育成し、特許出願を補助することによって出願件数が伸びることを説明したところ、特許リエゾンマン育成に関心をもって貰い実施しました。

・IPDLの検索演習を行った最終日に、各リエゾンマンが検索手順に沿って操作がスムーズに行っているのを見て、検索技術がマスターできたと感じました。

